

家庭 分野

検討の観点と内容の特色



この資料は、令和7年度中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

教育基本法(第2条)との関連

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
1	第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるように工夫されているか。	① 問題解決の過程 が明示され、生活の中から課題を見つけて解決するプロセスを繰り返すことで、生活をよりよくできるように配慮されている。 ②他教科や道徳との関連を「 他教科リンク 」マークで示すとともに、随所に技術・家庭科の特質に応じた道徳教育に関連する場面が示され、 道徳教育の充実 に配慮されている。 ③人との関わりを示す場面では、明るくあたたかい写真やイラストを豊富に掲載し、 豊かで健全な心が養われる ように配慮されている。 ④食育を重視し、食生活の内容の充実を図り、教科書の前半に位置付けて 健やかな身体 を養うことができるように工夫されている。	①p.6-7、272-273 ②p.30、36、120、121、174、182、204、257、260 など ③p.10-25、218-221、246-251、258-259 など ④p.28-115 など
2	第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように工夫されているか。	① 家族・家庭生活の資料 「自分らしく生きる」では自分らしく生きることの尊さを示し、 個人の価値を尊重 するように配慮されている。 ②多様で豊富な実習例では、個々にできる工夫例「 私のオリジナル 」等が随所に設けられ、 創造性を培う ことができるように配慮されている。 ③ 主体的に思考・判断・表現 しながら 生活の中の問題解決 に取り組むことを重視し、自主及び自律の精神を養うことができるように配慮されている。 ④学習内容に関連した職業に就く人からのメッセージを「 プロに聞く! 」としてコラムで紹介したり、将来を見通す場面を設けたりして、 職業と生き方、勤労の価値 などについて考えられるように配慮されている。	①p.270 ②p.67、152、154、160-161 など ③p.6-7、271-281 など ④p.51、100、131、163、185、215、255、263、284-285 など
3	第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように工夫されているか。	①家庭や学校、地域における生活のあらゆる場面で性別や世代を超えた話し合い活動や協力して作業する姿を写真やイラストで示し、 男女の平等や自他の敬愛と協力を重んじる態度 を養うことができるように配慮されている。 ②幼児や高齢者、外国籍の人、障がいのある人など 多様な人々との共生 を目指して、それらの人々と関わっている場面を写真やイラストで取り上げ、共生の大切さに気付き、多様な他者との協力・協働につながるように配慮されている。	①p.10-25、31、187、218-221、264-265、283、287 など ②p.10-25、178-181、218-270 など
4	第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように工夫されているか。	①生活の中で 環境に配慮している 場面を随所に取り上げ、家庭分野の学習を通して 持続可能な社会の構築を目指す態度 が養われるように配慮されている。 ②環境に関連する内容には「 環境 」マークを付し、 環境の保全に寄与する態度 が養われるように配慮されている。 ③ 巻末資料 「家庭分野とSDGs」でSDGsを取り上げるとともに、2~6編の最終章は持続可能な社会を目指す学習で統一され、 持続可能な社会の構築に寄与する態度 を養うことができるように配慮されている。	①p.108-109、160、186、210-215 など ②p.52、62-63、106、118、186-187、210-215、265 など ③p.104-107、162-163、186-187、214-215、260-265、270、口絵④
5	第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように工夫されているか。	① 日本や郷土 に昔から伝わる 料理や食材、衣服、住まい を写真で数多く取り上げ、それらに 誇りや愛着を持ち、継承 できるように工夫されている。 ②他国から伝わった食、他国の民族衣装や住まいを紹介し、 異文化への理解 が深まるように工夫されている。 ③SDGsやオーガニックコットン製品、フェアトレードなどについて扱い、他国を尊重し、 国際社会の平和と発展に寄与する態度 を養うことができるように工夫されている。	①p.98-103、122-125、172-175 など ②p.86-87、95、125、175 ③p.214-215、217、口絵④など
6	学習指導要領の教科の目標に則っているか。	① 中学校学習指導要領(技術・家庭科) で示された「 教科・分野の目標及び内容 」、「 指導計画の作成と内容の取扱い 」に準拠し、必要かつ十分な内容が適切に扱われている。	①全体

48	先生の働き方改革につながる配慮がなされているか。	① 学習者用デジタル教科書 や 指導者用デジタルブック (教師用指導書付属)などを発行予定で、動画等の資料がいつでも確認でき、「 主体的・対話的で深い学び 」が実現できるほか、 特別支援教育に対応 することができるよう配慮されている。 ②教科書の縮刷版に解説を加えた「 指導編 」のほか、「 入門編 」「 指導計画・評価編 」「 研究編 」「 実習編 」「 掲示資料 」「 指導者用デジタルブック 」など、内容が充実した 教師用指導書 で、授業前の準備や授業後の学習評価に役立つ資料を収載している。 ③教科書の学習内容が全国の年間指導計画の調査に基づいた配列となっており、目次を見ることで3年間の学習を見渡し、 カリキュラムの見通しを持つ ことができるよう工夫されている。 ④各節がそれぞれ1時間で扱える内容でまとめられ、かつ紙面が「 目標 」「 始めの活動 」「 学習課題 」「 本文・図版 」「 活動 」「 まとめの活動 」の流れで構成されているため、1時間の授業の見通しを持つことができるよう工夫されている。	①ICT関連商品、教師用指導書 ②教師用指導書 ③口絵③-p.1 ④p.2-3
4 表記・表現			
49	生徒の 学習意欲 を喚起し、主体的な学習を促す表現が工夫されているか。	①生徒が 意欲的に学習 に取り組めるように、イラストや写真、レイアウトを工夫し、 楽しい紙面 になるように工夫されている。 ②大きく鮮明な写真や図版を多数掲載し、生徒の学習への意欲を喚起するように工夫されている。 ③生徒などのキャラクターによって、教科書に親近感を持たせるように工夫されている。 ④各節のタイトルは、当該の学習活動を端的に表現するように工夫されている。	①②③④全体
50	文章表現 や漢字、仮名遣い、用語等の使い方は適切か。	①本文は敬体を用いて簡潔明瞭に表現されている。 ②文章表現は、小中学校の国語指導との関連を図り、発達段階に応じた適切な用語等を用いるとともに、中学校以降で学習する常用漢字には全てふり仮名が付されている。 ③専門的な用語については、側注や脚注などで、生徒が理解しやすい簡潔な表現で解説が補足されている。	①②全体 ③p.33、140、197、224 など
5 用紙・印刷・造本			
51	造本 は、学習効果を高めるように工夫されているか。	① 大判の紙面 を有効に使い、 資質・能力の育成 や、 主体的・対話的で深い学び など、学習指導要領の改訂に関わる情報量を充実させながら、 見やすい紙面 が実現されている。 ②大きな判型を生かし、 ダイナミックな写真 を用いることで、生徒の興味・関心を高めることができるように工夫されている。 ③ 折り込みページ を用いて効果的に学習を進めることができるように工夫されている。	①②全体 ③p.41-44
52	表紙、紙質、製本 は適当であるか。	①3年間の使用に十分耐えうるよう、表紙は汚れにくく、強度を高めるための加工(PP加工)が施されている。 ②本文用紙は、製紙会社と共同で開発した 軽量の紙 が使用されており、 生徒の身体的な負担に配慮 されている。裏抜けを抑え、食品の鮮やかさや人物の肌の温かみが豊かに表現されている。 ③長期の使用に耐えるよう、堅牢に製本されている。	①②③全体
53	印刷、製本において、 環境への配慮 は十分になされているか。	① 再生紙 や 植物油インキ を使用するとともに、製本には針金を使用しないことでリサイクルに優れている。 ②印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たす「 グリーンプリンティング認定工場 」で製造している。	①②全体

総合的所見

教科書全体を通して、総合的にどのような配慮を施した改訂となっているか。	●上記のように、教科書全体を通してさまざまな創意を凝らし、配慮を施した改訂を行っており、以下のことが実現されている。 ○生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○基礎的・基本的な学習内容は本文ページで漏れなく押さえ、その他の豊富な資料や実習例は本文ページと明確に区別し、かつ選択性を持たせているため、バランスよく学習を進められる。新任や臨時免許の指導者にも使いやすい教科書になっている。 ○内容や配列など全体にわたり、小学校での学習を引き継いで積み重ね、高等学校へのスムーズなつながりを促す工夫が施されるなど、学習の系統性を踏まえた教科書になっている。 ○資料や実習例の充実で、指導計画や実態に合わせて学習を深めたり広げたりすることができる教科書になっている。 ○他教科との関連が随所に示されるほか、他教科リンクマークのDマークでは紙面を見ることができ、カリキュラム・マネジメントの一助となる教科書になっている。 ○全体を通して記入例やワークシート例、話し合いの場面などが充実しており、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。 ○QRコンテンツなどが充実し、全ての生徒が学びやすいよう配慮されている。
-------------------------------------	--

学習指導要領との関連

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
7	実践的・体験的な学習活動を通して、3学年間の見通しを持って教科の目標が達成できるように配慮されているか。	①多様な実習例を数多く取り上げ、学校の実態や生徒の個性に応じた 実践的・体験的な学習活動 が行えるように工夫されている。 ② 調理の実習例 は、主題材と参考題材で 51 題材 を取り上げ、各学校の授業時数に応じて題材を選べるように配慮されている。 ③ 布を用いた製作の実習例 は、簡単な小物や衣服、資源や環境に配慮した例など、多彩な工夫例をちりばめて 25 題材 を取り上げ、各学校の授業時数に応じて題材を選べるように配慮されている。 ④ 幼児との触れ合い実習 については、「施設訪問」「中学校への招待」「写真・動画での観察」の 3例 を取り上げ、各学校の実態に応じて実施できるように配慮されている。また、触れ合い先を幼稚園、保育所、認定こども園だけでなく、児童館、地域の親子、NPO法人などの保育の場も例示されている。 ⑤家族や地域の人の関わりや、高齢者との関わりを考える ロールプレイング 、消費者トラブルへの対処法を考える漫画での 活動例 などを示し、楽しみながら実践的・体験的な学習活動ができるようになっている。	①p.76-79, 82-87, 90-97, 152-161, 246-251 など ②p.73, 76-79, 82-87, 90-99, 101, 234-235 ③p.152-161 ④p.246-251, 256 ⑤p.203, 208, 261, 263, 265-267 など
8	内容の配列は学習の展開を考慮し、系統的、発展的に組織され、配列、分量は適切か。	①全国の学校の実態を踏まえ、「1編 未来につながる家庭分野」「2編 私たちの食生活」「3編 私たちの衣生活」「4編 私たちの住生活」「5編 私たちの消費生活と環境」「6編 私たちの成長と家族・地域」「生活の課題と実践」の順で教科書の配列が「自立から共生」のストーリーになるよう工夫されている。 ②「1編 未来につながる家庭分野」を巻頭に位置付け、小学校での学習を踏まえて中学校で学習することを概観し、家族・家庭の基本的な機能を押さえたうえで学習を進めることができるように工夫されている。また、内容Aの幼児や高齢者の学習が後半に位置付けられ、 高等学校への円滑な接続 を促すことができるように配慮されている。 ③「生活の課題と実践」は巻末にまとめ、各学校の実態に応じて、また内容を複合的に選択して履修できるように配慮されている。 ④それぞれの編の各章・節の内容は、学習指導要領の内容を踏まえて、学習が系統的に進められるよう、 基礎・基本から応用・発展 へと段階を踏んで丁寧に記述されている。 ⑤各内容の 分量 は、時数、学期、学年配分等から見て 偏りがなく適切 である。	①全体 ②p.10-25, 224-259, 262-263 ③p.271-281 ④⑤全体
9	生活の営みに係る見方・考え方を働かせた深い学びの実現につながる工夫がなされているか。	①Warm upや「1編 未来につながる家庭分野」の「 家庭分野のガイダンス 」において、 生活の営みに係る見方・考え方が マークやイラストを用いて解説されている。マークやイラストでイメージを持ち、生活や学習の過程で見方・考え方を働かせて理解を深めることができるように配慮されている。 ②各編の導入において、 関連する見方・考え方をキーワードで例示 し、多角的な視点から考えたり、判断し決定したりして、楽しみながら問題解決に取り組めるように工夫されている。 ③キャラクター「 ミカッタ 」のせりふは見方・考え方を示唆する内容になっており、生徒が見方・考え方を働かせて思考し、深い学びが実現できるように工夫されている。	①p.7, 18-19 ②p.29, 117, 167, 193, 221 ③p.19, 24-25, 69, 204, 214, 223 など
10	主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されているか。	①「 主体的・対話的で深い学び 」につながる場面として「 考えてみよう 」「 やってみよう 」「 調べてみよう 」などの活動を数多く取り上げ、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするための発問を設けるなど、深い学びが実現できるように工夫されている。 ②物事を考えたり意見を整理したりする際に有効な 思考ツール を「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」などの活動の中で随所に取り入れ、生活の課題と実践の資料では思考ツールの例をまとめている。思考ツールを活用した「 主体的・対話的で深い学び 」を通して、 問題解決能力を高める ことができるよう工夫されている。 ③各節の最後に「 生活に生かそう 」「 まとめよう 」を設け、学習を振り返り、次の学習に向けて、主体的に取り組めるように配慮されている。	①p.50, 72, 137, 145, 170-171, 207, 231, 263, 266-267 など ②p.6-7, 25, 74, 80, 138, 171, 224, 252 など ③p.31, 53, 121, 175, 203, 205, 223 など
11	カリキュラム・マネジメントが行いやすいように配慮されているか。	①「 リンク 」マークを用いて教科間・学校種間の連携が図られ、教科関連を示す「 リンク 」にDマークが付いているものはQRコンテンツとして「 他教科 」「 小学校 」の関連する内容の教科書紙面を見ることができるよう工夫されている。 ②各編の導入には、「 小学校家庭科での学習 」をチェック形式で示し、学習の関連を図ることができるように工夫されている。	①p.3-4, 18, 30, 32, 35, 71, 73, 118, 127, 134, 174, 176, 182, 194, 245, 275 など ②p.29, 117, 167, 193, 221
12	問題解決的な学習過程を重視した学習の充実を図っているか。	①「 問題の発見→課題の設定→計画→実践→評価→改善→次の課題への挑戦 」といった問題解決のプロセスをWarm up で丁寧に説明するとともに、生活の課題と実践ではより具体的に解説して、生活の中で自ら問題解決に取り組むことができるように工夫されている。	①p.6-7, 272-273
13	知識及び技能の習得への取り組みは適切か。	①本文中の重要語句は ゴシック体 で強調し、 基礎的・基本的な知識 を確実に習得できるように工夫されている。 ②本文等の内容を裏付ける実験などの資料を取り上げ、 科学的な根拠 に基づいた知識が習得できるように工夫されている。 ③本文を補足したり応用したりする内容は、側注や「 資料 」などのコラムで、本文とは分けて記述されている。 ④各節の最後に「 まとめよう 」などのまとめの活動を設け、知識の定着を図っている。 ⑤必ず身に付けさせたい基礎的な技能を「 いつも確かめよう 」にまとめたり、 QRコンテンツ を充実させたりし、技能を確実に習得できるようにしている。また、技能の習得のために、 基礎技能 を用いてできる実習例や、難易度の低い実習例を取り上げている。	①全体 ②p.64, 75, 131, 172, 177, 226, 231 など ③p.31, 118, 169, 195 など ④p.35, 119, 171, 195, 225 など ⑤p.64-73, 79, 134-137, 146-151, 158-159 など

14	思考力、判断力、表現力等の育成への取り組みは適切か。	①Warm upの「 家庭分野の学習の進め方 」では、 家庭分野の問題解決的な流れ を具体例とともに示し、その後の学習や生活の場での問題解決に生かすことができるように工夫されている。 ② 生活の課題と実践 では、 問題解決のプロセス に沿って実践できるように、全ての実践例が問題解決の流れで示されている。 ③ 調理実習 、 布を用いた製作 、 幼児との触れ合い体験 では、 実習の手順や流れ を示し、見通しを持って実習に取り組むことができるように工夫されている。 ④布を用いた製作の実習例では「 私のオリジナル 」として工夫例を取り上げ、生徒の創造性を引き出すことができるように工夫されている。 ⑤各編の 導入 は見開きで構成し、資料性の高い写真やイラストなどを用いて生徒の興味・関心を高め、見方・考え方の例を示してあらゆる視点から考え、問題解決的な学習へと結び付くように配慮されている。	①p.6-7 ②p.276-281 ③p.62-63, 143, 244-245 ④p.152, 154 など ⑤p.28-29, 116-117, 166-167, 192-193, 220-221
15	学びに向かう力、人間性等の育成への取り組みは適切か。	①「1編 未来につながる家庭分野」に「 家庭分野で学ぶこと 」がイラストとともに明記され、「 何のために学ぶのか 」を理解して学習に取り組むことができるように工夫されている。 ②各節の始めには「 目標 」と「 始めの活動 」、「 学習課題 」を掲げ、見通しと課題意識を持って学習を進めることができるとともに、各節の最後に「 生活に生かそう 」「 まとめよう 」を設け、自分なりに学びを見つめ返し、 自己調整力 を高める機会となるよう工夫されている。 ③「1編 未来につながる家庭分野」の「 家庭分野のガイダンス 」及び各編の導入では、見方・考え方について例示し、生活の営みに係る見方・考え方から よりよい生活を創ろうとする態度 を身に付けることができるように工夫されている。 ④脚注には、身近な生活に関わる物事について興味を持って読むことができる豆知識「 せいかつメモ 」が掲載されている。	①p.10-11 ②p.30-31, 118-119, 168-171, 194-195, 222-223 など ③p.7, 18-19, 29, 117, 167, 193, 221 ④p.30, 118, 168, 194, 222, 272 など
16	家庭分野のガイダンスを行うための適切な配慮がなされているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、小学校家庭科の学習を振り返るとともに、中学校技術・家庭科家庭分野の3学年間の学習の見通しを持たせることをねらいとして、「 家庭分野のガイダンス 」が巻頭の「 1編 未来につながる家庭分野 」に設けられている。 ②「1編 未来につながる家庭分野」の扉ページには、「 家庭分野で学ぶこと 」を示して「 何のために学ぶのか 」を明確にするとともに、学習に関連するイラストでイメージが持てるように工夫されている。 ③「1編 未来につながる家庭分野」は「 自立と共生を目指そう 」「 中学校家庭分野の学習を見よう 」「 家庭分野の見方・考え方 」「 私たちの家族と家庭生活 」「 中学生と家族の1日の家庭生活 」「 私たちがなう家族・家庭の機能 」として、内容A「 家族・家庭生活 」の内容を含めて多様な 6つのテーマ で構成し、授業時間数等に応じて柔軟に選択して学習できるように工夫されている。 ④ 生活の営みに係る見方・考え方 がマークや写真・イラストを用いて具体化されている。マークや写真・イラストでイメージを持ち、生活や学習の過程で見方・考え方を働かせて理解を深めることができるように配慮されている。 ⑤「 私たちがなう家族・家庭の機能 」では、家族・家庭生活を軸とした家庭分野の学習の広がりやつながりをイラストなどで表現するとともに、各編扉でも示し、学習が円滑に進められるように工夫されている。 ⑥全体として、これまでの生活や学習を振り返って3学年間の学習を見通すほか、問題解決の流れを示したり、生活の営みに係る見方・考え方や家族・家庭の基本的な機能を丁寧に解説したりするなど、 3学年間の学習の基盤となる内容 が盛り込まれている。	①p.12-19 ②p.10-11 ③p.10-25 ④p.7, 18-19 ⑤p.24-25 ⑥p.10-25, 29, 117, 167, 193, 221
17	内容A「 家族・家庭生活 」は、基礎的・基本的な知識及び技術を習得し、生活に生かすことができるように工夫されているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、「1編 未来につながる家庭分野」で小学校家庭科との関連を図って「 家庭分野のガイダンス 」を設けるとともに、「 私たちの家族と家庭生活 」についての内容を取り上げるなどし、指導が難しいとされる 家族や幼児、高齢者 の内容が円滑に進められるようになっている。 ②「1編 未来につながる家庭分野」と関連を図り、6編では改めて家族との生活や基本的な機能を振り返り、家族・家庭での自立を考える1章、幼児の生活と家族について学ぶ2章、1～2章の学びを生かして、家族や高齢者・地域との関わり方を工夫し、持続可能な家庭・地域生活を考える3章といった構成で、 ストーリー性 を持たせている。 ③ 幼児や高齢者 に関する内容は第2学年後半から第3学年での履修を想定し、 教科書の後半 に位置付けるなど、実態に合った構成となるように工夫されている。 高等学校の学習へつなげる こともできるように配慮されている。 ④ 生徒のプライバシー に関わる家族についての記述は、踏み込み過ぎないように十分に配慮し、絵本を活用した資料を用いたり、 漫画やアニメの家族 の例で示したり、 ロールプレイング を取り入れたりして、客観的に家族について考えられるように配慮されている。	①p.10-25 ②③p.218-270 ④p.20-21, 260-261, 266-267 など
18	内容B「 衣食住の生活(食生活) 」は、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、生活に生かすことができるように工夫されているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、食生活の内容を系統的に学習できるように、 食生活の振り返り 、 栄養 、 献立 、 調理 、 地域の食文化 、 持続可能な食生活 で構成されている。 ② 食品の実物大写真 、 6つの食品群 をはじめ、多くの食品を 写真 で紹介し、生活経験の少ない生徒でも実感を持って学べるように工夫されている。 ③ 調理実習 は豊富な題材例数を、鮮明な写真とともに紹介し、生徒の興味・意欲を高めるように工夫されている。 ④和食、地域の食材、各地の雑煮や郷土料理を写真で紹介するなど、 日本や郷土の文化を大切に する心を育むように配慮されている。 ⑤食料自給率や食品ロス、フード・マイレージなどの資料が充実し、食生活に関わる問題を グローバルな視点 から考えられるように工夫されている。	①p.28-115 ②p.41-49 など ③p.73, 76-79, 82-87, 90-97, 101, 108-109, 234-235 ④p.98-103 ⑤p.104-107

19	内容B「衣食住の生活(衣生活)」は、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、生活に生かすことができるように工夫されているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、1章で「衣服の選択と手入れ」、2章で生活を豊かにする物を作る「生活を豊かにするために」、3章で「持続可能な衣生活」の流れで構成されている。 ②日本の文様、地域の衣文化の例、浴衣の着用など、和服に関する内容を写真やイラストで紹介し、日本の文化を大切にすることを育むように配慮されている。 ③布を用いた製作実習では、指導計画に応じて柔軟に対応できるように、幅広い難易度の題材が充実している。また、完成写真は生活で活用している場面が紹介され、生徒の興味・意欲を高めるように工夫されている。 ④資源や環境に配慮した製作の例として、余り布を用いた小物や衣服のリフォーム・リメイクが取り上げられている。	①p.116-165 ②p.122-125、162 など ③p.152-161 ④p.158-160 など
20	内容B「衣食住の生活(住生活)」は、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、生活に生かすことができるように工夫されているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、住まいの役割と安全な住まい方を系統的に学び、地域・社会との持続可能な住生活を学ぶ流れで構成されている。 ②日本の伝統的な住まいの特徴や気候風土に合わせた日本各地の住まいの例を写真で紹介するなど、日本の文化を大切にすることを育むように配慮されている。 ③家庭内事故や自然災害への対策に関する内容が充実し、大きな1枚イラストを用いての活動や、中高生が被災時にできたこと、避難所や仮設住宅での暮らしをよりよくする工夫などの資料から多彩な安全教育が実践できるように配慮されている。 ④巻末に「災害に備える」が設けられ、家庭分野ならではの防災・減災についての学習ができるように工夫されている。	①p.166-189 ②p.172-175 ③p.178-185 ④p.286-287
21	内容C「消費生活・環境」は、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、生活に生かすことができるように工夫されているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、購入方法と支払い方法、計画的な金銭の管理、消費者トラブル、商品の選択と購入、消費者の権利と責任、環境に配慮した持続可能な消費生活の流れで構成されている。 ②販売方法と支払い方法、三者間契約の仕組み、消費者トラブル、消費者の権利と責任などは、イラストや漫画、QRコンテンツで示し、生徒が興味・関心を持って学べるように配慮されている。 ③生活者として自立するために大切な「意思決定のプロセス」を明確に示している。また、食生活、衣生活の学習でもこのプロセスを扱い、繰り返し学習することで意思決定能力を身に付けることができるように工夫されている。 ④省エネルギーや3R、エシカル消費などの内容は、衣食住の学習内容との関連を図り、相互に学習が深められるように工夫されている。	①p.190-217 ②p.196-203、208-209 など ③p.52-53、138-139、204-205 ④p.104-107、162-163、186-187、210-215 など
22	選択必修「生活の課題と実践」は、基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、生活に生かすことができるように工夫されているか。	①学習指導要領の趣旨を踏まえ、各学校の実態に応じて選択して履修できるよう、全ての学習内容の最後にまとめられている。 ②生活の課題と実践の進め方を、Warm up「家庭分野の学習の進め方」の問題を解決する道筋と同じ流れで構成し、繰り返し学習することで生活における実践力を高めることができるように工夫されている。 ③「課題の決め方」や軽重のある充実した「実践例」で、生徒が自分なりの課題を見つけることができるように工夫されている。 ④各編末の「学習のまとめ」では、各学習内容における興味・関心を持ったことや自分なりの課題を書く記述欄を設け、生活の課題と実践のテーマにつなげることができるようになされている。 ⑤実践例は、テーマとなる家族・家庭生活、衣食住、消費生活・環境の学習内容等の関連が分かるように示し、実践の流れや発表の方法とともにレポート例、プレゼンテーションソフトウェア例、ポスター例、新聞例の作品を掲載し、生徒の言語活動を促して表現力を育むように配慮されている。	①p.271-281 ②p.6-7、272-273 ③p.274、276-281 ④p.111、165、189、217、269 ⑤p.276-281

教科書構成上の配慮と工夫

No.	検討の観点	内容の特色	具体例
1 内容の構成・配列・分量			
23	教科書の構成は、系統性を踏まえたものになっているか。	①巻頭の「教科書の構成と使い方」では、教科書の構成やマークの意味について説明し、教科書の構成を理解したうえで活用できるように工夫されている。 ②各編は、「編の導入」→「基本ページ」→「学習のまとめ」の構成で統一され、実習例や資料はその構成の中で適切に取り上げられている。 ③基本ページでは、生徒が毎時の学習内容を一目で見渡せるように、見開きで構成されている。 ④各節の始めには「始めの活動」と「学習課題」を設け、課題意識を持って毎時の学習に取り組むようになされている。また、各節の最後には「まとめ活動」を設け、学習したことをまとめたり、生活に生かしたりできるようになされている。更に、随所に具体的な学習活動や問い、思考の助けとなるような図表や資料、活動を示し、主体的に問題解決的な学習を進められるようになされている。	①p.2-3 ②p.28-111、116-165、166-189、192-217、220-269 ③p.2-3 ④p.30-31、118-119、168-171、194-195、222-223 など

24	関心や意欲を持ち、個別最適な学びや協動的な学びに取り組める工夫がされているか。	①衣食住の生活の内容が教科書の前半に位置付けられ、興味・関心を高める構成となるように工夫されている。 ②編の導入には「この編で学ぶこと」、各節には「目標」という学習の到達目標をはっきりと示し、見通しを持って学習を進めることができるように配慮されている。 ③写真やイラストなどの資料を効果的かつ豊富に用いているほか、QRコンテンツも充実し、学習への興味・関心を高めるように工夫されている。 ④各節の導入には「始めの活動」を設け、生徒の興味・関心や意欲を高めるように工夫されている。 ⑤調理や布製作の実習例はさまざまな難易度の題材を取り揃え、幼児との触れ合い体験はさまざまな形式の体験方法を提示し、生徒や学校の実態に応じて選択できるように配慮されている。 ⑥実習例の「私のオリジナル」では、簡単な工夫例を取り上げ、自分なりの工夫や、家庭での実践を促すように工夫されている。 ⑦さまざまな思考ツールを取り上げ、生徒が主体的に、また協動的に学習活動に取り組めるように配慮されている。 ⑧レポート例などが充実しており、生徒が自ら学習をする際の参考として扱うことができるように工夫されている。	①□絵③-p.1 ②p.29-30、117-118、167-168、193-194、221-222 など ③p.44-47、180-181、208、230 など ④p.30、118、168、194、222 など ⑤p.73、76-79、82-87、90-97、101、108-109、152-161、234-235、246-251 ⑥p.152、154 など ⑦p.6-7、25、74、80、138、171、224、252 など ⑧p.38、121、137、143、184、245、253、276-281 など
25	学習評価を適切に行えるように配慮されているか。	①各節の冒頭に観点別評価につながる「目標」が示されている。 ②各節末には学習を振り返ったり、次の学習に生かしたりする「生活に生かそう」「まとめよう」が設けられている。 ③各編末には「学習のまとめ」が見開きで設けられ、評価の三観点に沿って学習を振り返り、それに基づいて復習できるように工夫されている。また、編ごとに学習を振り返って生活に生かしたいことを記述する欄を設け、学んだことが生活に生かされるよう配慮されている。	①p.30、118、168 など ②p.31、119、171 など ③p.110-111、164-165、188-189、216-217、268-269
26	身に付けた知識及び技能を生活に生かすことができるように配慮されているか。	①節の最後の「まとめの活動」に「生活に生かそう」を設け、節の学習を生活に生かせるように工夫されている。 ②各編末の「学習のまとめ」に「生活に生かそう」を設け、編の学習を総合的に生活に生かせるように工夫されている。 ③「生活の課題と実践」では、「課題の発見→計画→実践→振り返り、評価→改善→次の課題への挑戦」の流れを具体的に実践例で示し、生徒が家庭分野で学習したことが無理なく実践できるように工夫されている。	①p.31、121、175、205、223 など ②p.111、165、189、217、269 ③p.272-273
27	これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てることができるように配慮されているか。	①「1編 未来につながる家庭分野」の「家庭分野のガイダンス」の「自立と共生を目指そう」では、自分の成長を振り返るとともに、これからの自分について考えられるように配慮されている。 ②「1編 未来につながる家庭分野」の「家庭分野のガイダンス」の「自分の生活チェック」には1年生の最初と学習後、3年後の自分について記述する欄を設け、巻末の「家庭分野の学習を終えて」には未来の自分へ手紙を書く欄を設け、これからの生活を展望し、よりよいものにしようとする意欲と態度を引き出すように工夫されている。 ③教科書の最終ページ「家庭分野とSDGs」では、ともに学んできた仲間とよりよい生活を目指して、明るく豊かな未来を切りひらくよう促し、持続可能な社会の構築を意識してこれからの生活を展望できるよう工夫されている。	①p.12-13 ②p.16-17、282-283 ③□絵④
28	生徒一人一人の興味・関心に応じた指導の工夫がされているか。	①生徒が自らの生活を振り返って課題を発見するための発問を提示している。 ②生徒の興味・関心に応じて実習題材を選ぶことができるように、幅広い難易度の実習題材が豊富に揃えられている。 ③実習ページに「私のオリジナル」を設け、生徒一人一人の工夫を促すことができるように工夫されている。 ④脚注に豆知識である「せいかつメモ」を設け、興味・関心に応じて扱うことができるように工夫されている。	①p.32、138、178、194、222、264 など ②p.73、90-97、152-161、246-251 など ③p.152、154 など ④p.30、118、168、194、224、272 など

2 全ての生徒が使いやすい紙面への配慮

29	特別支援教育に配慮されているか。	①ふり仮名は、特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を用い、可読性を高めるように配慮されている。 ②基本ページでは、「目標」「始めの活動」「まとめの活動」などが全て同じ位置に配置され、見やすく理解しやすいように工夫されている。 ③実習の手順などは左から右に読み進める横の流れで統一され、見やすく理解しやすいように工夫されている。 ④生徒の巧緻性に配慮し、作業する手や姿勢の写真などを豊富に掲載するとともに、包丁の使い方や手縫いの内容では、左利きの例も取り上げられている。 ⑤キャラクターのせりふは全て文節改行となっており、読みやすさに配慮されている。 ⑥特別支援教育の観点から、内容及びデザインについて検討し、専門家による校閲を受け、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮されている。	①全体 ②p.30-31 など ③p.62-63、82-83、143、152-153、246-247 など ④p.68-69、127-129 など ⑤□絵③-p.1、30 など ⑥全体
30	色覚特性への対応などユニバーサルデザインに配慮されているか。	①書体は全てユニバーサルデザインフォント(UD書体)を使用し、可読性を高めるように配慮されている。 ②カラーユニバーサルデザインの観点から、配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家の校閲を受けている。	①②全体

31	人権や福祉、多様性に配慮されているか。	①幼児から高齢者まで世代の異なる人、障がいのある人やない人、さまざまな国籍の人、異なる文化や言語を持つ人などが登場し、周囲の人との 共生の大切さ を自覚できるように工夫されている。 ②男女がともに子育てに関わっている姿を写真やイラストで示したり、法律などの資料を取り上げたりして、男女共同参画社会における 男女の協力の大切さ が重視されている。イラストや写真の服装や発言内容が、性別による役割固定にならないように配慮されている。 ③教科書全編を通して、 生徒のプライバシーに配慮 して表現されている。特に、家族の内容では、さまざまな家族形態があり、どれもかけがえのない家族であることが指導しやすいように配慮され、生徒の 自己肯定感を高める ことができるように工夫されている。	①p.12-25、178-181、270、283、289 など ②p.22-25、222-223、254-261、284-285 など ③p.20-21 など
32	小学校の学習内容との関連が適切に示されているか。	①学習指導要領による 小学校の学習との系統性 を踏まえ、中学生の発達段階の特徴を考慮した内容を扱い、生活を工夫し創造しようとする態度を養うように配慮されている。 ②「1編 未来につながる家庭分野」の「家庭分野のガイダンス」で、 中学校と小学校の学習内容 を見開きで写真とともに提示し、小学校の学習の上に中学校の学習が積み重なっていることが分かるような構成になるように工夫されている。 ③各編の導入ページで、「小学校家庭科での学習」をキーワードで挙げ、振り返りながら中学校の学習に入ることができるように工夫されている。 ④随所に「 小学校リンク 」マークを付して、小学校で学んだことが示されている。	①全体 ②p.14-15 ③p.29、117、167、193、221 ④p.34、118 など
33	「発展的な学習内容」が適切に取り上げられているか。	①当該箇所には、「 発展 」マークを付け、発展的な学習内容であることが明示されている。発展的な学習内容には、基礎的・基本的な内容を踏まえ、 生徒の興味・関心に応じて深めていく ことのできる内容が取り上げられている。	①p.125、175、217、249、256-259、288-289
3 今日的な課題への取り組み			
34	環境教育や、持続可能な社会の構築に向けた取り組みについて、十分な取り扱いがされているか（SDGs、ESDへの対応）。	①巻末に「 家庭分野とSDGs 」を設けるとともに、2～6編の最終章は持続可能な生活を目指した内容で構成され、全ての学習で SDGsの視点から持続可能な社会の構築に寄与する態度 を養い、学習やこれからの生活を工夫できるように配慮されている。 ② サステナブルクッキング、衣服のリフォーム・リメイク、省エネルギー、エシカル消費、消費者市民社会、アップサイクル、フェアトレード などを取り上げ、持続可能な社会や環境について考えられるよう配慮されている。 ③環境、資源・エネルギーについて、 循環型社会の推進 を大きなテーマとして扱い、循環型社会のために自分たちにできることが具体的に挙げられている。 ④環境への配慮に関する内容には「 環境 」マークを付して、生徒の意識を高めるとともに、実践に結びつけるよう工夫されている。	①p.104-109、162-163、186-187、210-215、260-267、口絵④など ②p.108-109、160、211、214-215、217 など ③p.163、213 など ④p.52、62-63、142-143、186、210-215 など
35	中学生たちが自分の将来を見据えて学習ができるように、 キャリア教育の充実 に配慮されているか。	①「 プロに聞く! 」では、栄養士、建築士、保育士など、家庭分野の学習内容に関係の深い仕事に就いている人たちからのメッセージを紹介し、生徒の 勤労観・職業観 を育むことができるように工夫されている。 ②巻末には「 プロに聞く! 」を総集した「 学んだことを社会に生かす 」を設け、家庭分野の各内容を深めて働いている人たちを学習内容別に取り上げ、家庭分野の学習と社会とのつながりを感じられるように工夫されている。	①p.37、51、63、100、172、215、243 など ②p.284-285
36	食育 について、家庭分野がその充実に資するような配慮がされているか。	①家庭分野が担う 食育 の役割の重要性に鑑み、食生活の内容が系統的に学習できるように配慮されている。 ②食生活の内容では、冒頭で食事の役割を押さえ、 自らの食生活を見直す ことで課題を持って後の学習に臨めるように工夫されている。 ③調理実習の 主題材5例 は、完成例の写真と「 目標 」を示し、課題を持って実習に取り組めるように工夫されている。 ④ 実物大の写真 を充実させたり、 折り込みページ を活用して食品や料理、献立の写真を充実させたりして、生徒の 興味・関心 を引き出し、学習を深めることができるように工夫されている。 ⑤ 学校給食 と関連付けて指導できるように配慮されている。	①p.28-115 ②p.30-33 ③p.76-77、82-85、90-93 ④p.41-49、76-79、82-87、90-103 など ⑤p.33、51、98 など
37	情報活用能力 を育成できるように配慮されているか。	①必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて 情報を得たり、思考ツール などを活用して 情報を整理したり、発信したり できるように例示が取り上げられている。 ②「生活の課題と実践」では、 コンピュータ等を用いたまとめと発表の仕方 を具体的な成果物で示されている。	①p.203、205、275、など ②p.275、277 など
38	情報モラル について、十分な取り扱いがされているか。	① 情報モラル については、技術分野との連携を図りながら、オンラインゲームのトラブルについて取り上げて考えさせるなど、特に内容Cにおいて扱い、家庭分野としての情報モラルの学習内容の充実が図られている。 ②情報モラルについては、学習活動に応じて適宜「 情報モラル 」マークを付して注意を促すように工夫されている。	①p.200-201 ②p.200-201
39	問題発見・課題解決能力 を育成できるように配慮されているか。	①「 課題の設定→計画→実践→振り返り、評価→改善→次の課題への挑戦 」といった問題解決のプロセスを巻頭のWarm upで丁寧に説明するとともに、生活の課題と実践ではより具体的に解説して、生活の中で自ら問題解決に取り組むことができるように工夫されている。	①p.6-7、272-273

40	伝統や文化 に関する教育に配慮されているか。	①日本や郷土に昔から伝わる食、衣服、住まいを中心に、鮮明な写真とともに多数例示を取り上げ、 日本の伝統に誇りや愛着を持ち、継承できるように工夫 されている。 ②伝統・文化に関する内容には「 伝統文化 」マークを付して、生徒の意識を高めるように工夫されている。	①②p.98-103、122-125、172-175 など
41	防災・減災教育 について、十分に配慮されているか。	①防災・減災に関する内容を随所に取り上げ、「 防災 」マークを付して、生徒の意識を高めるように工夫されている。 ②巻末に「 災害に備える 」が設けられ、家庭分野ならではの防災・減災について学習でき、また、自分や家族で検討すべき内容がまとめられているので、生活で活用できるように工夫されている。	①p.154-155、182-185、264-265 など ②p.286-287
42	安全教育 について、十分に配慮されているか。	①巻頭のWarm upに「 実習を楽しく安全に進めよう 」を設け、実習前、実習中、実習後における注意事項を記述し、安全への意識を高めてから各実習に取り組むことができるように配慮されている。 ②実習や技能、触れ合い体験などにおける安全や衛生のポイントには「 安全 」マーク、「 衛生 」マークを付して、生徒の意識を高めるように工夫されている。 ③調理実習や調理に関するページなどでは、 食物アレルギーや食中毒 などに関わる内容に「 衛生マーク 」や 注意を促すマーク などを付し、調理を行ううえで、 常に配慮することができる ように工夫されている。 ④ 食物アレルギーについての資料を新設し、自分の生命や体を守る大切さ について考えられるように工夫されている。 ⑤ 調理実習の「いつも確かめよう 」では、調理の安全・衛生に関する内容がまとめられ、実験写真やイラストなどを設け、 科学的根拠に基づいて理解 できるように工夫されている。	①p.8-9 ②p.64-65、135-136、146-147、244-245 など ③p.76-79、82-87、90-97、101、108-109、234-235 ④p.59 ⑤p.64-65
43	消費者教育 について、十分な取り扱いがされているか。	① 消費者教育 を重視し、消費者としての自覚と必要な知識が身に付き、行動に結び付くように工夫されている。 ② 悪質商法、消費者トラブルの事例 をイラストや漫画で取り上げ、低年齢化する消費者トラブルの防止に役立つように工夫されている。 ③自分たちの消費行動が社会づくりに結び付く「 買い物は投票 」という具体的な考え方を紹介し、責任ある消費者としての自覚と行動を促すように工夫されている。 ④生活者として自立するために大切な「 意思決定のプロセス 」を食生活、衣生活、消費生活の学習で明確に示し、繰り返し学習することで意思決定能力を身に付けることができるように工夫されている。 ⑤消費生活に関わる内容には「 消費者 」マークを付して、生徒の意識を高めるように工夫されている。	①p.52-59、138-139、194-215 など ②p.200-203 ③p.214 ④p.52-53、138-139、204-205 ⑤p.52、138-139、194-209、214-215 など
44	人権の尊重や生命・福祉、多様性 の視点に立った取り扱いがされているか。	①「 バリアフリー 」「 ユニバーサルデザイン 」について取り上げ、高齢者や障がいのある人への理解を深めることができるように配慮されている。 ②基本的なルールやマナーなどに関する内容には「 マナー 」マークを付して注意を喚起し、生徒の意識を高めるように工夫されている。 ③幼児から高齢者まで世代の異なる人、障がいのある人やない人、さまざまな国籍の人、異なる文化や言語を持つ人などが登場し、周囲の人との 共生の大切さ を理解できるように工夫されている。 ④男女がともに子育てに関わっている姿を写真やイラストで示したり、法律などの資料を取り上げたりして、 男女共同参画社会 における男女の協力の大切さが重視されている。イラストや写真の服装や発言内容が、性別による役割固定にならないように配慮されている。 ⑤巻末に「 家庭分野とSDGs 」を設け、平和で公正な社会をつくるために、年齢や性別、国境を越えて協力することの大切さを考えることができるように工夫されている。	①p.179、288-289 ②p.245 など ③p.10-25、178-181、218-270 など ④p.18-19、24-25、250-251、284-285 など ⑤口絵④
45	グローバル化 に対応する視点に立った配慮がされているか。	①他国から伝わった食、他国の民族衣装や住まいを紹介し、 異文化への理解 が深まるように工夫されている。 ②「 フード・マイレージ 」「 衣服の生産から廃棄 」「 エシカル消費 」「 フェアトレード 」など、グローバルな資料を取り上げ、 国際社会の発展に寄与する態度 を育成するように配慮されている。	①p.86-87、125、175 など ②p.104-107、163、215、217 など
46	1人1台端末やデジタル教科書の利用 に対応して学習を進めるための工夫がなされているか。	①インターネットを活用して効果的に学習を進めるためのQRコンテンツを用意し、該当箇所に Dマーク を付している。QRコンテンツはWebページから無料配信され、授業や家庭での実践で活用できるように工夫されている。 ②生徒の個別最適な学びや協働的な学びに有効なコンテンツを多数収録した 学習者用デジタル教科書 の発行が予定されている。 ③動画やシミュレーションなどのコンテンツを収録した 指導者用デジタルブック の発行が予定されている。	①p.4-5、30、74、125、174-175、197、226 など ②ICT関連商品 ③教師用指導書
47	家庭分野のご指導経験の浅い先生方や臨時免許などの先生方への配慮がされているか。	①教科書の基本構成は、授業が組み立てやすい「 見開き構成 」になっており、育成すべき資質・能力を各節の冒頭に「 目標 」として明確に示すことで、指導と評価の一体化を図ることができるように工夫されている。 ② 教科書の配列 を3年間の指導計画に合うよう「 自立から共生 」へのストーリーで展開し、教科書を頭から順に進めることで系統的に学習できるように配慮されている。 ③教科書の構成を 1節1時間 の全59節で統一し、座学59時間に実践的・体験的な学習を選択的に取り入れることで3年間の87.5時間が網羅できるように工夫されている。 ④ 豊富な実習例 を取り上げ、生徒や学校、地域の実態に応じて選択することができるように配慮されている。 ⑤ 実物大写真や折り込みページ など、生徒の興味・関心を高めて深く学べる資料が効果的にちりばめられている。 ⑥質の高い動画やシミュレーションなどの QRコンテンツ が用意されており、専門ではない内容でも安心して師範し、指導できるように工夫されている。	①p.2-3 ②③口絵③-p.1 ④p.76-79、82-87、90-97、152-161、234-235、246-251 など ⑤p.41-47、230 など ⑥p.4-5 など